



平成29年10月25日
東日本高速道路(株)
定例記者会見 資料4-1

東北自動車道の整備効果

東北自動車道は昭和62年に全線開通したよ！

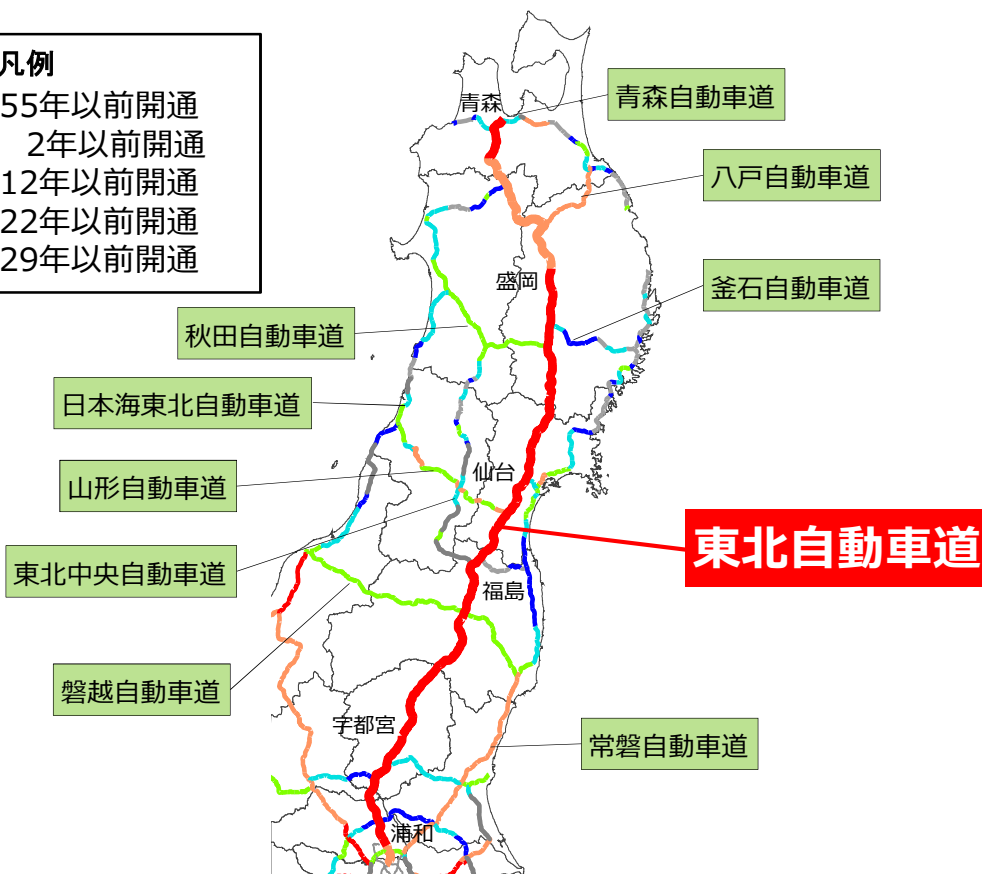
- ◆ **東北自動車道**は、昭和47年に岩槻IC～宇都宮IC間が開通し、昭和62年9月9日に680kmが**全線開通**しました。



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

凡例

昭和55年以前開通
平成2年以前開通
平成12年以前開通
平成22年以前開通
平成29年以前開通



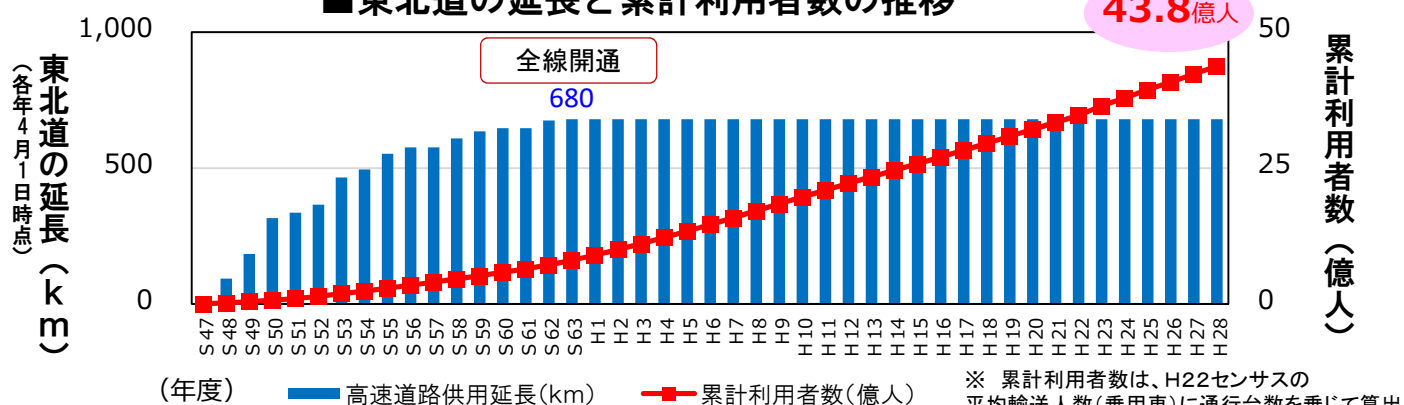
はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』



これまでに43億人以上の方に利用されているよ！

- ◆ **東北自動車道**が開通して以来、累計利用者数※は約**43億8千万人**となっています。

■東北道の延長と累計利用者数の推移

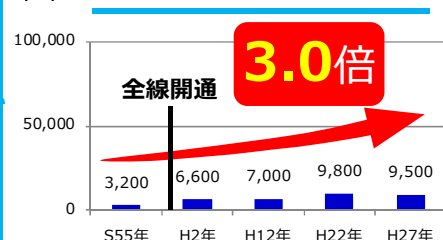
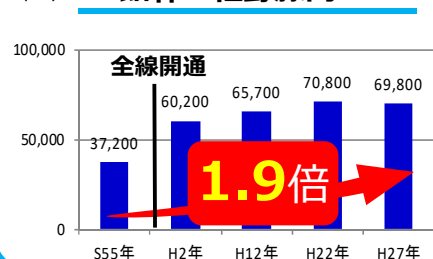
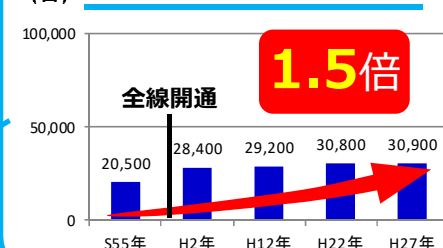
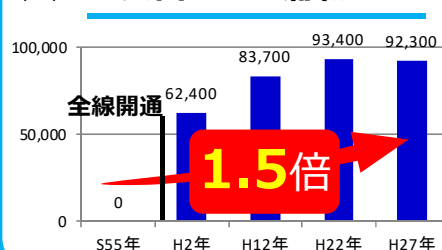
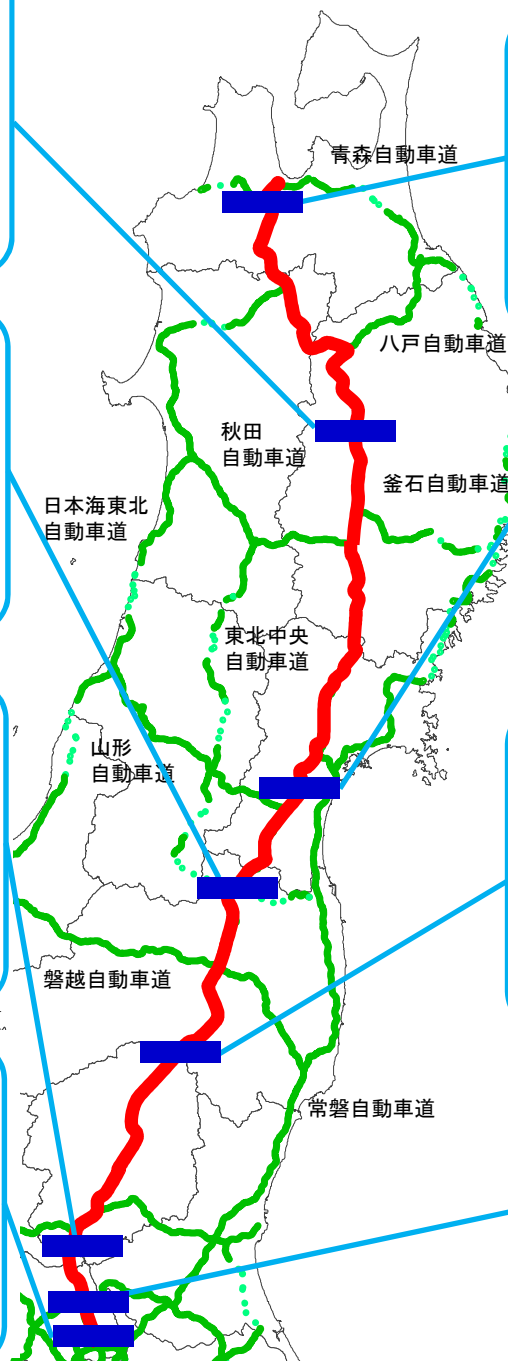
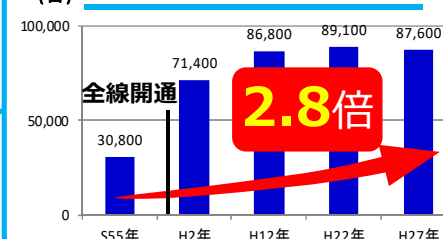




東北道を走る車はどんどん増えているよ！

◆ 昭和55年以降、**東北自動車道**の主要な断面交通量は、**最大3.0倍に増加**しています。

はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

**盛岡南～盛岡****浪岡～青森JCT****福島西～福島飯坂****仙台南～仙台宮城****館林～佐野藤岡****那須高原スマートIC～白河****川口JCT～浦和****蓮田スマートIC～久喜白岡JCT**

出典：NEXCO東日本

※ 2010年は無料化社会実験



写真:平成29年8月撮影

東北道を通るバスで東北地方の色々な所に行けるんだね!!

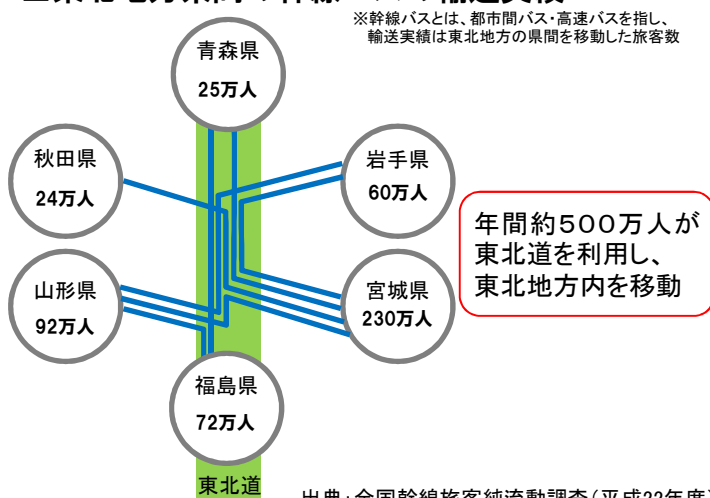
- ◆ 東北道を利用する高速バスは131ルート、575本/日が運行しており、東北地方内で年間約500万人が利用。
- ◆ 東北地方の都市間を結ぶ公共交通として重要な役割。

■仙台発着の高速バスネットワーク



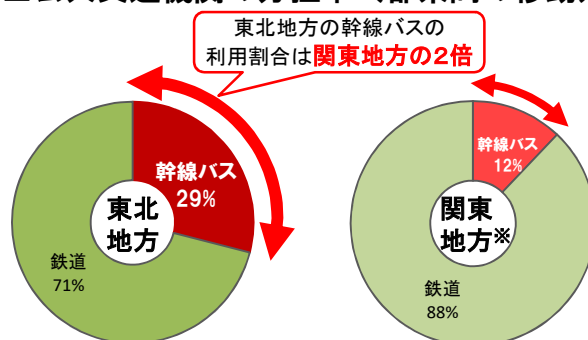
出典:東北運輸局提供データより作成

■東北地方県間の幹線バスの輸送実績*



出典:全国幹線旅客純流動調査(平成22年度)

■公共交通機関の分担率(都県間の移動)



※東京、神奈川、千葉、埼玉の県間移動は調査対象外
出典:全国幹線旅客純流動調査(平成22年度)



地域間の交流を促進

写真：平成29年8月撮影

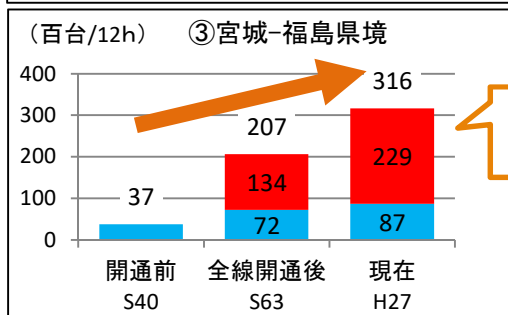
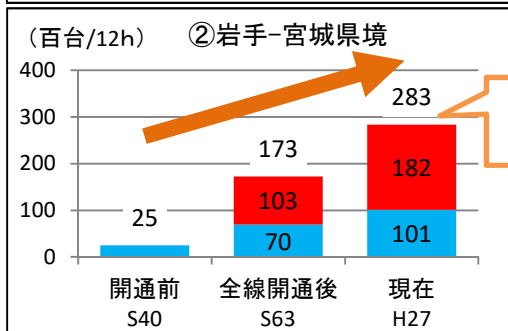
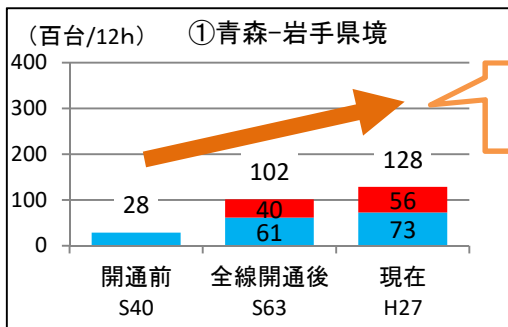
県を越えた交通が増えてるね!!



はいっすい人街ネットイメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

◆ 県境の交通量（全車）は開通前から現在にかけて約5～11倍に増加。

◆ 県境の交通量の変化（全車）



凡例
■ 東北道
■ 国道4号

出典：全国道路・街路交通情勢調査

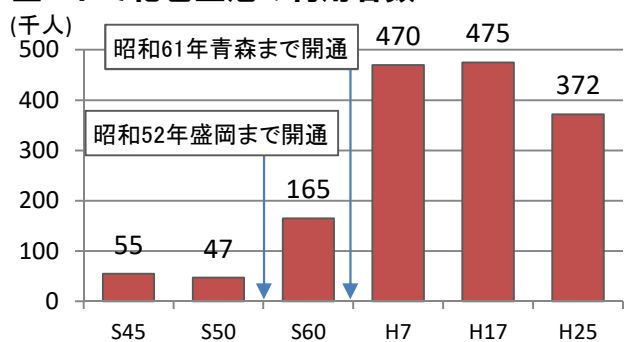


東北道を使うと空港から観光地までが便利になるんだね!!

- ◆ 東北道の延伸整備により、いわて花巻空港の利用客が増加。
- ◆ いわて花巻空港から盛岡市や観光地へのアクセスが向上し、団体ツアー商品の多様化や個人観光客が増加。



■いわて花巻空港の利用者数



出典：花巻空港国内定期便旅客実績

■盛岡⇄いわて花巻空港の特急バス



出典：岩手県空港利用促進協議会

■いわて花巻空港周辺の観光施設



写真:岩手県観光協会より提供

■関係者の声（空港関係者）

東北道の開通により、盛岡～いわて花巻空港間の特急バスの所要時間が短縮し利用客が増加しました。



いわき花巻空港を起点とした観光圏が拡大し、団体ツアー商品の多様化や個人旅行客の行動範囲が広がり、利用者増加に大きく貢献しました。

出典：平成29年8月ヒアリング結果



輸送圏域を拡大

写真：平成29年8月撮影

東北道を使って多くの物を運んでるね!!



はいうえい人街ネットイメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

- ◆ 東北地方※1を発着する物流について、**輸送圏域が拡大し**、**輸送量が※2**
約5倍に増加。

※1: 青森県、岩手県、宮城県、福島県 ※2: 輸送量は、3日間における推計値

◆ 東北地方※1を発着する物流全品目の輸送量の変化

○開通前(昭和45年)

東北地方※1を発着する
物流全品目の輸送量
約19万トン



○現在(平成27年)



東北地方※1を発着する
物流全品目の輸送量
約100万トン(約5倍)

凡例(単位:トン)

- : 1000未満
- : 1,000以上～5,000未満
- : 5,000以上～15,000未満
- : 15,000以上～30,000未満
- : 30,000以上

出典: 全国幹線貨物純流動調査(S47)、全国貨物純流動調査(H27)



地域間の物流を促進

写真：平成29年8月撮影

大型車の交通が増えてるね!!

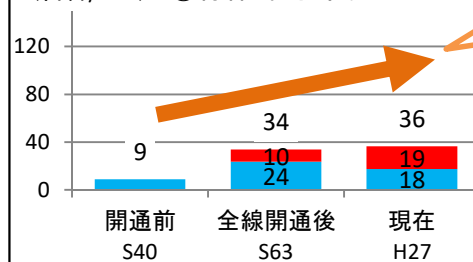


◆ 県境の交通量（大型車）は開通前から現在にかけて**約4～10倍に増加**。はいうえい人街ネットイメージキャラクター 『みちのこはっぴ〜くん』

◆ 県境交通量の変化(大型車)

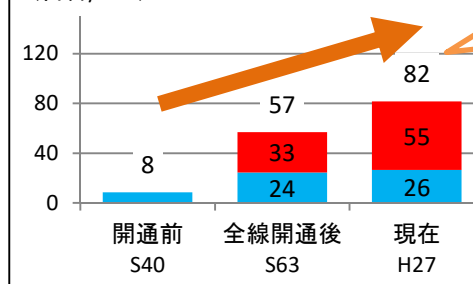


(百台/12h) ①青森-岩手県境



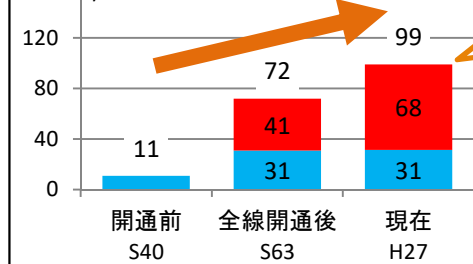
約4倍増加

(百台/12h) ②岩手-宮城県境



約10倍増加

(百台/12h) ③宮城-福島県境



約9倍増加

凡例
■ 東北道
■ 国道4号

出典：全国道路・街路交通情勢調査



東北の食材を首都圏の食卓へ

東北地方の野菜を首都圏で食べられるんだね!!

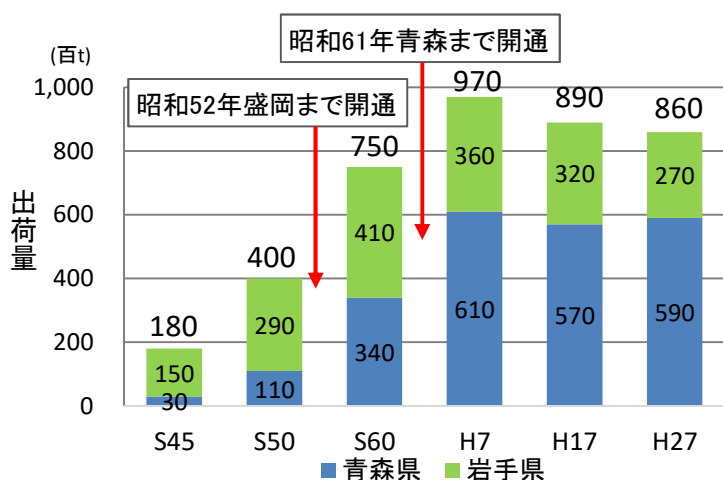


はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

- ◆ 東北道の開通により農産品の輸送が効率化し、東京都卸売市場への出荷量が大幅に増加。
- ◆ 東北産農産品の多くが、東京都卸売市場での取扱量が上位。

農産品の東京都卸売市場への出荷量

東京都卸売市場への輸送時間短縮



東北地方から首都圏へ
東北道を利用し農産品を出荷



東京都卸売市場での取扱上位品目

にんにく（青森県）…第1位
ごぼう（青森県）…第1位
ながいも（青森県）…第1位
ピーマン（岩手県）…第3位
大根（青森県）…第4位

出典：東京都中央卸売市場統計情報（平成28年度）

関係者の声（農業関係団体）



東北道の開通後は、早く大量に市場に届けられるようになり、出荷量、生産量が増加し、鮮度も向上しました。

特にりんどうは盛岡から鉄道で出荷していました。昔は貨物車にクーラーが無かったため鮮度保持は難しかったです。

出典：平成29年8月ヒアリング結果

盛岡から大田市場
東北道利用：6時間
一般道利用：14時間
約8時間短縮

出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

高鮮度・高品質のマグロを首都圏へ

写真:大間町より提供

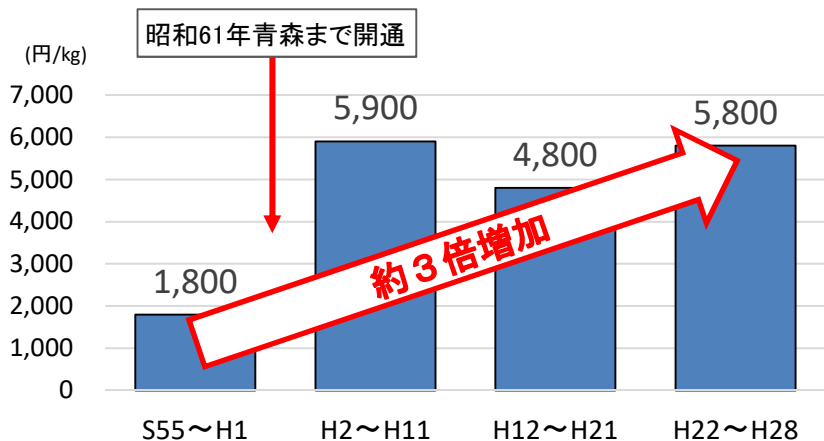
大間のマグロは新鮮なうちに東京に届いているんだね!!

- ◆ 東北道の開通により鮮度を保つ輸送が可能となり、青森県産のマグロは高値で取引。
- ◆ キロ当たりの取引額は、東北道の開通前と比べ約3倍に上昇。



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

■大間漁協のまぐろのキロ当たりの取引額



出典:大間町提供データ

■関係者の声（水産業関係団体）



大間のまぐろは水揚げ後、朝8時半頃に大間で集荷し、東京へ出荷されます。

東北道を利用しないと、水揚げの翌朝の競りには間に合わず、鮮度が落ちてしまいます。

出典:平成29年8月ヒアリング結果

■まぐろの輸送時間の短縮



出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査



東北産のたまごを首都圏へ

写真:青森県 常盤村養鶏農業協同組合より提供

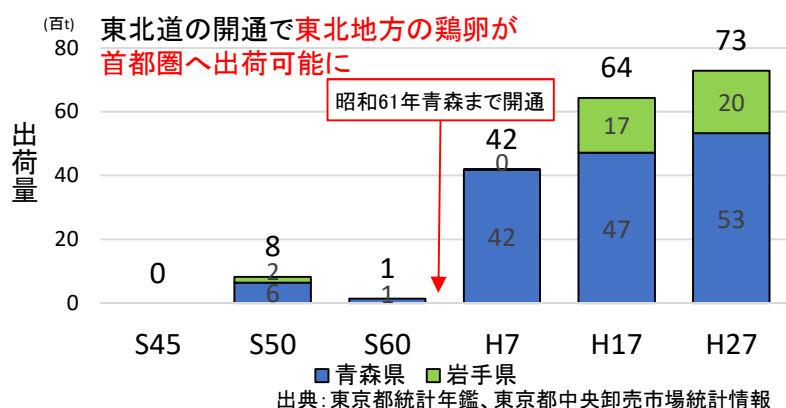
東北産のたまごを東京で食べられるんだね!!

はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

- ◆ 東北道の開通により、青森県、岩手県産の鶏卵の流通が拡大。
- ◆ 東京都卸売市場のシェア約7割の鶏卵を出荷。

■鶏卵の東京都卸売市場への出荷量

■高速道路を利用した輸送のメリット



■鶏卵の東京都卸売市場でのシェア

青森県、岩手県の鶏卵がシェアの約7割を占める。



■関係者の声 (鶏卵関係団体)



東北道の整備により、首都圏への出荷が可能になり、生産者が増加しました。
鶏卵は、収穫後午後3時に集荷するため、東北道が無いと翌朝の競りに間に合いません。

出典: 平成29年8月ヒアリング結果

青森から大田市場
東北道利用: 約8時間
一般道利用: 約19時間
約11時間短縮

出典: 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査



地域開発を支援

写真:国土地理院撮影の空中写真(平成28年撮影)

東北道ができて町並みが大きく変わったんだね!!



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

◆ 東北道の開通により、住宅地、工業団地などの沿線開発が促進。

■北上金ヶ崎IC周辺の変化

開通前(昭和60年)



現在(平成28年)



北上南部工業団地が整備

■盛岡南IC周辺の変化

開通直後(平成元年)



開通後(平成20年)



盛岡市中央卸売市場が立地

■仙台宮城IC周辺の変化

開通直後(昭和52年)



開通後(平成20年)



愛子地区の宅地開発が進展

出典:国土地理院



東北の工業団地進出を支援

写真: 郡山市より提供

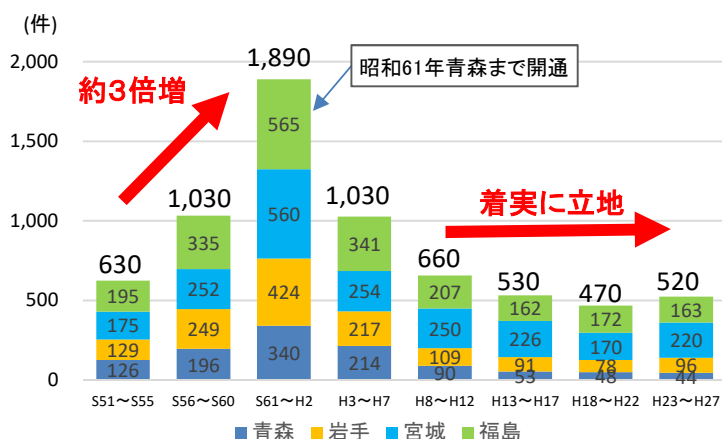
工業団地は東北道のまわりに多いんだね!!



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

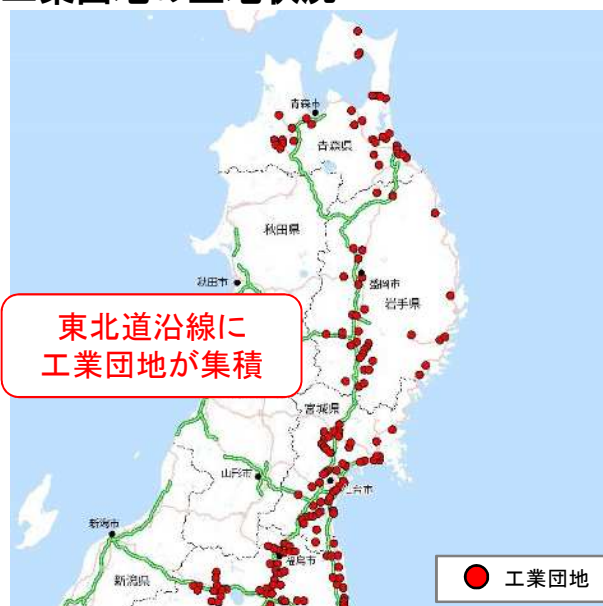
- ◆ 東北道の開通に合わせ沿線に工業団地が加速的に整備され、開通前と比べ製造品出荷額は約2倍に増加。

工場立地数



出典: 工場立地動向調査

工業団地の立地状況

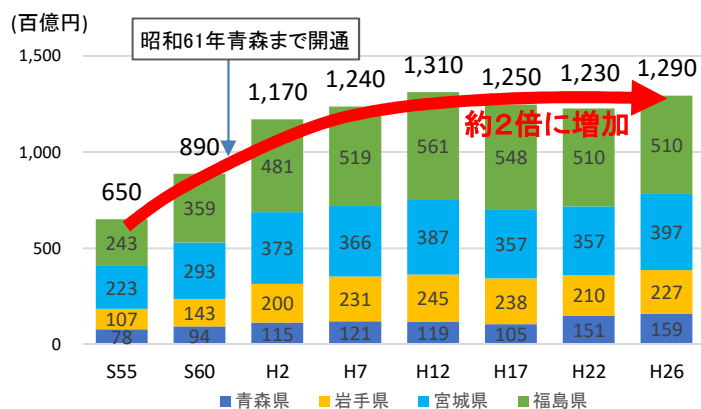


東北道沿線に
工業団地が集積

● 工業団地

出典: 国土交通省国土数値情報をもとに作図

製造品出荷額



出典: 工業統計調査

関係者の声 (北上工業団地の製造メーカー)



東北道の利用により工場を確実に稼働させることができるのが大きなメリットです。北上工場の製品を出荷する時だけでなく、生産に影響が無いように、北上工場で使用原料もメーカーから確実に届きます。特に冬の一般道は混雑が激しいため、東北道の効果は高いです。

出典: 平成29年8月ヒアリング結果



写真：平成29年8月撮影

クルマや自動車部品は東北道を使って運んでいるんだね!!

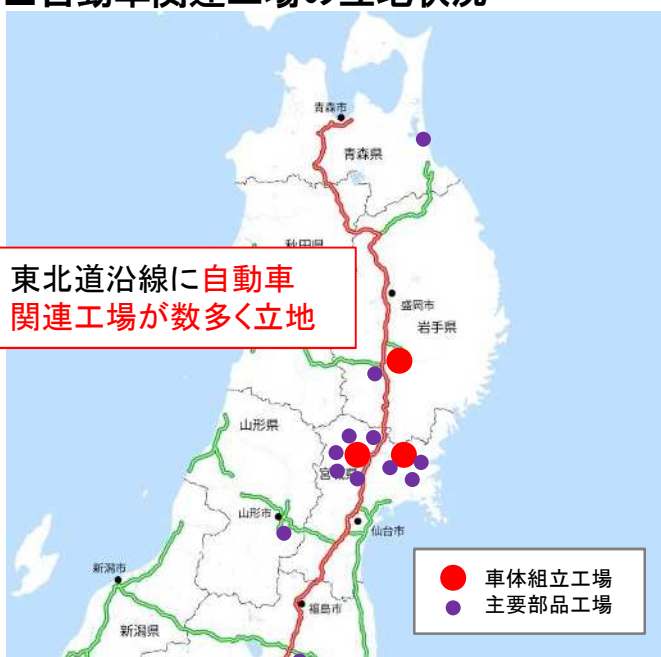


はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

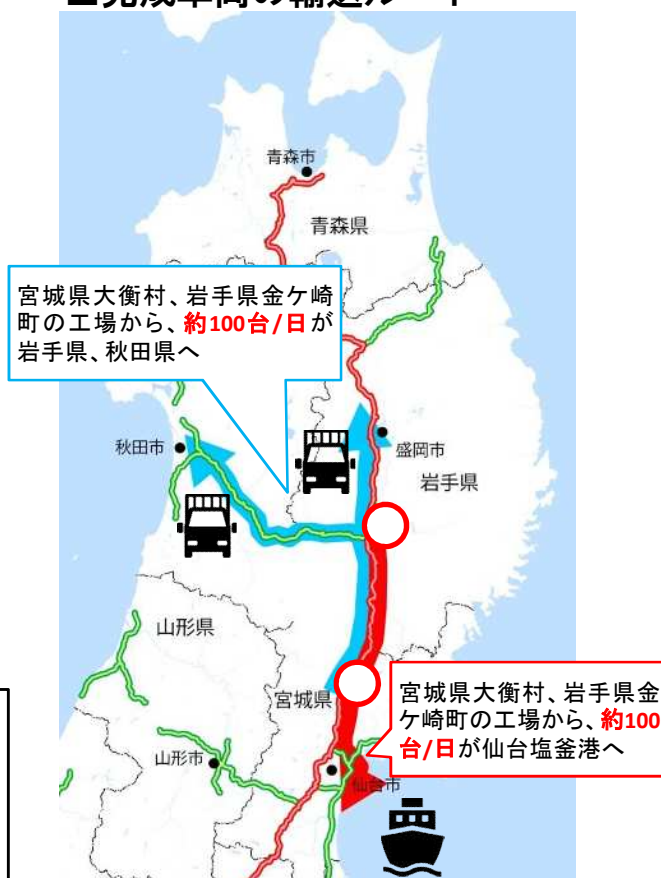
- ◆ 宮城県は「みやぎ自動車産業振興プラン」を推進しており、東北道沿線には多くの自動車関連工場が立地。
- ◆ 東北道を利用することで、計画的な輸送計画を組むことが可能。

■自動車関連工場の立地状況

■完成車両の輸送ルート



出典：東北地方整備局資料をもとに作成



出典：物流事業者へのヒアリングをもとに作成

■関係者の声（自動車製造関係）



東北道を利用することで、運送時間の短縮やドライバー経費の削減、冬季等年間を通して安定的な輸送が可能となり、輸送台数が増加しました。

出典：平成29年8月ヒアリング結果



流通サービス向上や効率化を支援

写真：平成29年8月撮影

青森の農水産品が出荷した翌日にアジアの国々に届くんだね!!



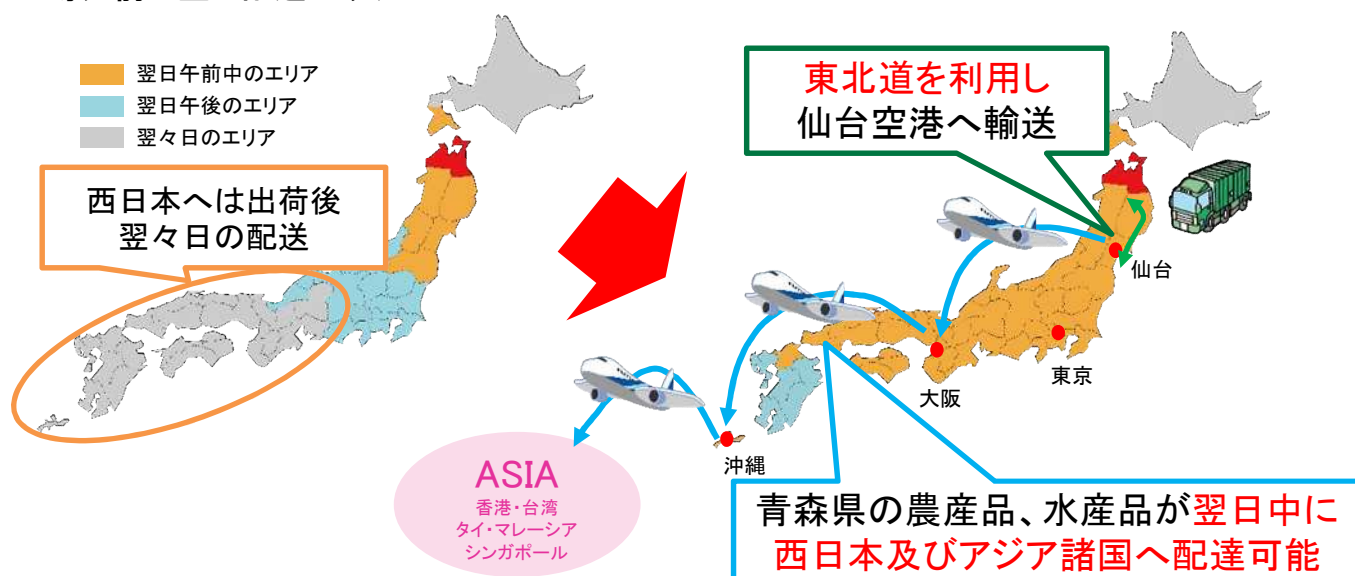
はいえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴーくん』

- ◆ 東北道を利用し、素早く確実に仙台空港へ輸送することにより、翌日中に西日本・アジア諸国まで配達可能。
- ◆ 海外及び西日本への販路構築に寄与し、青森県の農業、水産業を支援。

■青森県総合流通プラットフォーム

●導入前の翌日配達エリア

●導入後の翌日配達エリア



出典：青森県ホームページ

■関係者の声（物流事業者）



定時性・速達性を確保できる東北道が無ければ、青森県の農業、水産業従業者の所得向上を支援する輸送サービスは成り立ちません。

出典：平成29年8月ヒアリング結果



東北の観光産業活性化を支援

写真：青森観光コンベンション協会より提供

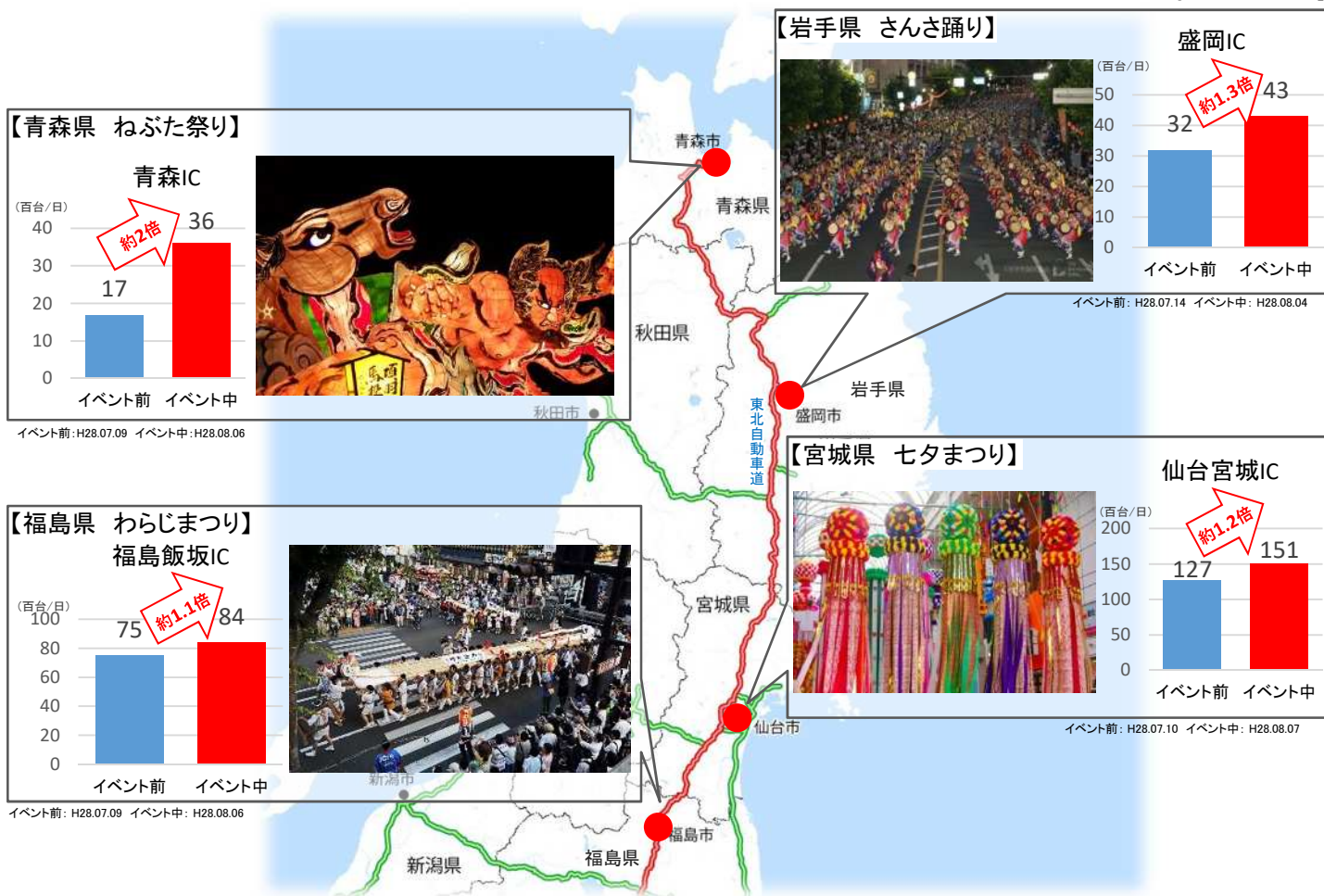
東北道を利用し様々なイベントに参加できるんだね!!



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

◆ 東北道を利用して観光する県外客は通常時に比べ最大で約2倍に増加。

■ 東北夏まつり開催時の高速道路の利用状況(県外利用者)



出典: ネクスコ東日本データ



インバウンド観光を支援

左上：宮城県大河原町 一目千本桜
右上：岩手県平泉町 中尊寺
左下：青森県十和田市 奥入瀬溪流
右下：宮城県蔵王町 樹氷

東北道を利用してたくさんの観光地に行けるんだね!!

- ◆ 東北道を利用し、高速バスで成田空港より観光地に直接アクセス可能。
- ◆ インバウンド観光客を対象とした、高速バスのフリーパスや高速道路料金の定額乗り放題など、東北道を活用した施策を実施。



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

■成田空港からの東北地方への高速バス路線

■高速バスのフリーパスチケットの販売



出典：Japan Bus Online

■関係者の声（ツアー会社）

インバウンド観光客の増加を目指して高速バスのフリーパスチケットの取り組みを行っています。



高速道路を利用して、インバウンド観光客を東北に誘致しようという地域主体の取り組みであり、今後も継続して取り組んでいく予定です。

出典：平成29年8月ヒアリング結果



医療機関へのアクセスを向上

写真：平成29年8月撮影

東北道を利用するとすばやく患者さんを病院に運べるんだね!!

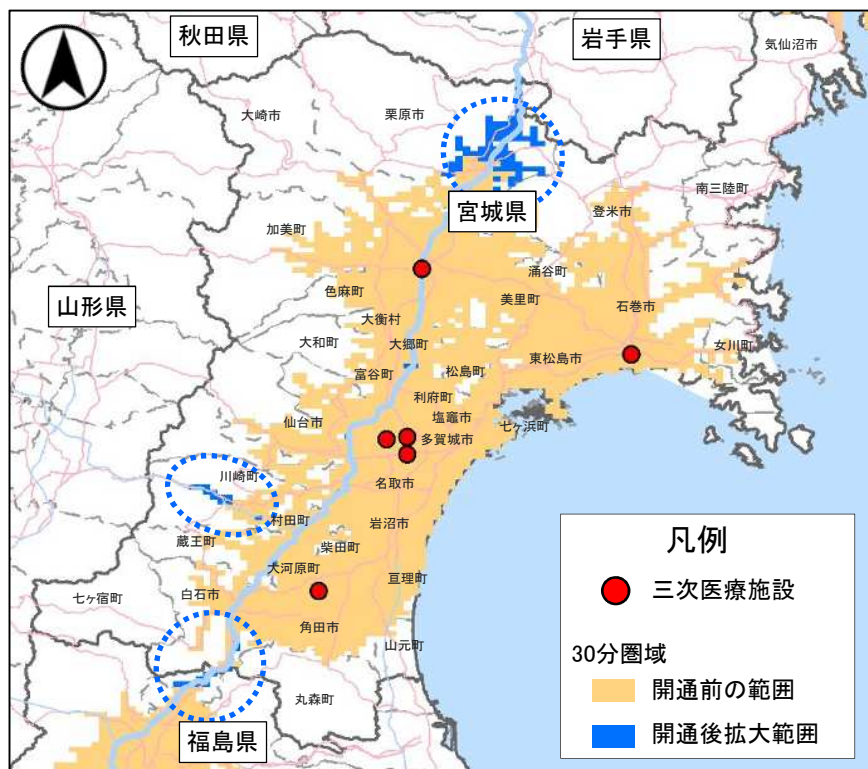


はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

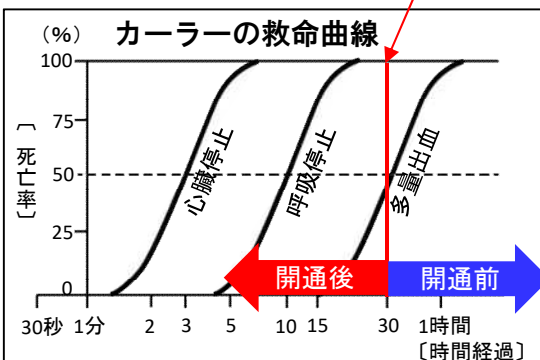
- ◆ 東北道の開通により救急搬送の時間短縮や患者への負担軽減に寄与。
- ◆ 東北地方全体で三次医療30分圏人口が約3万人増加。

■三次医療施設からの30分圏の変化（宮城県）

■救命率の向上



30分以内に搬送することで、多量出血の救命率が向上



■関係者の声（消防本部関係者）

東北道の開通により、救急搬送時間が短縮し、定時性が確保できるようになりました。



また、高次医療施設の救急搬送エリアが拡大したことで、患者の容態にあわせ、搬送先の選択肢が増えました。出典：平成29年8月ヒアリング結果

東北の医療体制効率化を支援

写真：平成29年8月撮影

みんなの献血が東北中に運ばれているんだね!!

- ◆ 東北道の開通により迅速な血液輸送が可能となり、血液事業が効率化。
- ◆ 東北6県へ年間約8,800回の輸送が行われ、輸血用血液製剤約35万本を医療機関へ輸送。



はいうえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

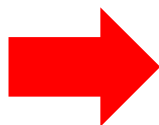
■血液製剤の製造・輸送ルートの変化

【東北道開通前】

各県に血液製剤の製造所を整備し、県内に輸送

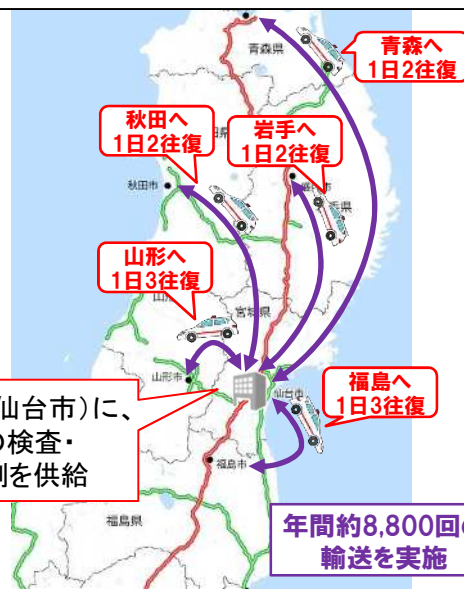


各県で血液製剤を製造していたため、輸送効率の低下が課題



【東北道開通後】

東北各県からの輸血を仙台に集約。一括して血液製剤を製造し、製剤を仙台から東北各県へ輸送



東北ブロック血液センター（仙台市）に、東北6県で献血される血液の検査・製剤・管理業務を集約し製剤を供給

年間約8,800回の輸送を実施

■関係者の声（血液センター）



東北道の開通前は、各県に1箇所ずつ血液製剤製造所を配置していましたが、東北道が開通し迅速な輸送が可能になったため、血液を集約し製造することで、一度に多くの血液製剤を製造することができています。

出典：平成29年8月ヒアリング結果



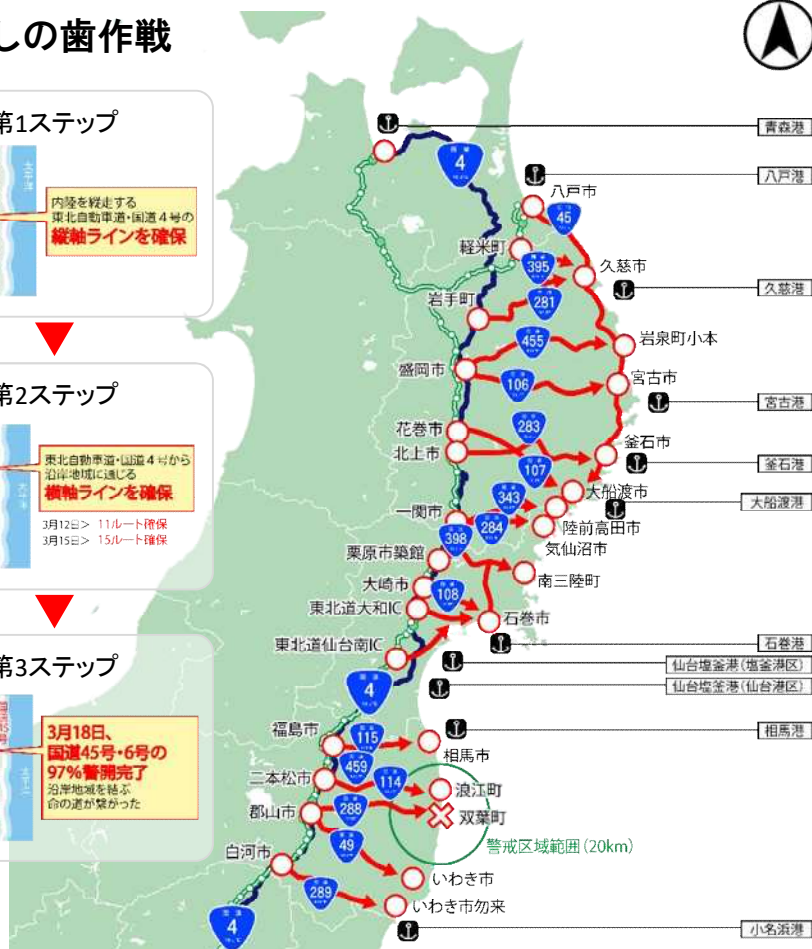
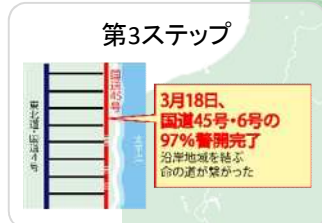
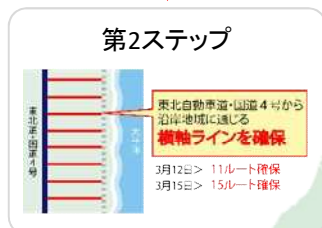
東日本大震災時には東北道が役立ったんだね!!

- ◆ 東日本大震災時、東北道は救援活動や物資輸送を支援。
◆ 被災者支援のため無料措置を行い復興を支援。



はいえい人街ネット
イメージキャラクター
『みちのこはっぴ〜くん』

■くしの歯作戦



「くしの歯作戦」とは、内陸部を南北に貫く東北自動車道と国道4号から、「くしの歯」のように沿岸部に伸びる何本もの国道を、救命・救援ルート確保に向けて切り開く作戦のこと。

東北自動車道の対応状況

平成23年3月11日
東北地方太平洋沖地震発生
通行止めを実施後、
ただちに緊急点検を開始

平成23年3月12日早朝
東北道などの主要路線を中心に
緊急車両の通行を可能とする
仮復旧を順次完了し、自衛隊の
救護車両などが利用

平成23年3月24日
東北地方太平洋沖地震に伴い
実施していた交通規制が全面解除

平成23年6月20日
被災者支援のための無料措置



環境改善に貢献

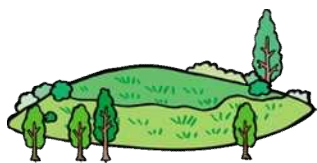
東北道を利用すると環境に優しいんだね!!



はいうえい人街ネットイメージキャラクター
『みちのこはっぴくん』

◆ 自動車からのCO₂、NO₂、SPMの排出量が大幅に削減。

1. 自動車からのCO₂排出の削減



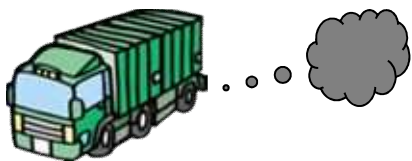
CO₂・・・年間約5,600t-CO₂(20%)削減

国道4号走行時：28,039 (t-CO₂/年)

東北道走行時：22,437 (t-CO₂/年)

約5,600t削減(20%削減)

2. 自動車からのNO₂排出の削減



NO₂・・・年間約15t(3%)削減

国道4号走行時：466.1 (t/年)

東北道走行時：451.2 (t/年)

⇒約15t削減(3%削減)

3. 自動車からのSPM排出の削減



約6.8万本

SPM・・・年間約6.8t(15%)削減

(500mlペットボトル約68,000本分に相当)

※ペットボトル1本(500ml)に入るSPMを約100gとして計算

国道4号走行時：44.4 (t/年)

東北道走行時：37.5 (t/年)

⇒約6.8t削減(15%削減)

算出条件：東北道(仙台市内)を走行する車両の各排出量と、それらの車両が国道4号(仙台市内)を走行すると仮定した際の排出量を比較